

第2回 八潮市で発生した道路陥没事故に関する原因究明委員会 議事要旨

日時：令和7年5月29日（木）15：00～17：00

場所：埼玉県県民健康センター 1階 大会議室C

1. 藤野陽三委員長挨拶

今回の道路陥没事故において、お亡くなりになられた方のご冥福をお祈りするとともに、ご家族、関係者の皆様にお悔やみ申し上げます。

さて、本委員会は、今回の道路陥没事故が発生した要因について、客観性と公平性を持って検証することを目的に設置され、3月14日に第1回の委員会を開催いたしました。

第1回委員会では、事故の概要や現場状況について埼玉県や草加八潮消防局から聞き取ったうえで、原因究明を適切に進めるための論点や収集すべき情報を整理いたしました。

今回は、現時点までに収集・整理できた情報を基に、下水道管が損傷したメカニズムとしてあらゆる可能性を推定し、それを裏付けるために今後どのような調査や分析を進めていくべきかについて議論したいと考えております。

委員の皆様には、それぞれのご専門の立場から活発にご議論いただき、本日の委員会が実りあるものとなることを祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

2. 議題

(1) これまでの確認事項

これまでに調査・収集した資料などの説明を事務局より行い、委員より内容の確認が行われた。

(2) 過去の管渠内調査結果に関する日本下水道管路管理業協会へのヒアリング

令和3年度の調査結果は、「管の腐食：ランクB」という評価で妥当であるとの見解が示された。

（参考）「管の腐食」に関する調査判定基準

- ・ランクA：鉄筋露出状態
- ・ランクB：骨材露出状態
- ・ランクC：表面が荒れた状態
- ・異常なし

人が下水道管内に入ることができない区間であり、船体式カメラによる調査である。令和3年度の船体式カメラによる調査画像と、事故後の下水道管内の実際の劣化状況との違いについては、引き続き検証が必要であることが確認された。

(3) 討論

考えられるシナリオとして大別して次の2つのシナリオがあることを事務局より説明した。

「地中内に空洞が発生し、この空洞が拡大して陥没穴となったシナリオ」と「下水道が劣化し、何らかの形で下水道が崩壊したことによって、地表面に陥没穴が発生したシナリオ」について、事務局より説明した。

これらシナリオに対して、「(1) これまでの確認事項」に基づく可能性や更に調査すべき事項についての意見交換が行われた。

(4) 今後について

今後は、中間取りまとめに向けた準備として、現地の復旧工事等に関連して事故現場の追加調査や構造解析、空洞模型実験、化学的腐食調査などを行い、シナリオの更なる検討を行うことを事務局が説明した。

— 以上 —